

科目名	人間関係論			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
理学療法士において、コミュニケーション能力は患者さん治療において、一番大切であり、原点である。医療の現場におけるコミュニケーションの重要性を理解し、お互いの認知・共感・理解し、有効な関係を築くコミュニケーション能力を養う。								
〔授業全体の内容の概要〕								
講義、グループワークで行い、実技につなげる。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
コミュニケーションの方法と技能を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことが出来る。								
回数	講義内容							
1	コミュニケーションとは							
2	コミュニケーションスキル							
3	グループワーク（なぜコミュニケーション能力が必要か。それを得るためには何が必要か）							
4	グループワーク（なぜコミュニケーション能力が必要か。それを得るためには何が必要か）							
5	マナー講座（良好な人間関係の仕組み；傾聴・理解、分かりやすく伝達＝相互関係）							
6	マナー講座（信頼関係の構築と協働作業の実践；良好な人間関係の構築の考察、他者の意見の傾聴）							
7	マナー講座（信頼関係の構築と協働作業の実践；理解した結論の実践）							
8	マナー講座（伝達内容の記録・保存；情報管理の必要性、情報の発信・記録・保存）							
9	マナー講座（情報漏洩のリスク管理）							
10	グループワーク（プレゼン発表準備、グループでテーマ選択し情報収集）							
11	グループワーク（プレゼン発表準備、グループでテーマ選択し情報収集）							
12	グループワーク（プレゼン発表準備、グループでテーマ選択し情報収集）							
13	グループワーク（プレゼン発表準備、グループでテーマ選択し情報収集）							
14	プレゼン発表							
15	プレゼン発表							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名				著者名		出版社		
授業時に必要なプリント資料を配布する。								
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
筆記試験にて評価する。								